



# 千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.2.9 No. 3158

## 汝野支部長(津田沼)に(2/8)不当な減給処分と強制配転の事前通知

断じて許さぬ  
千葉支社の暴挙

今すぐ  
事前通知を撤回せよ

二月八日、千葉支社当局は、津田沼支部汝野支部長に対し、減給処分と蘇我駅そば店への強制配転の事前通知を出してきた。

その理由は、昨年十月三十日の「管理者の添乗拒否」なる一〇〇%不当デタラメなものであり誰が見ても組織破壊攻撃そのものであり、十二・五・一・一八ストをけんいんした津田沼支部破壊のみを目的とする動労千葉への重大な挑戦である。そもそも、十月三十日のいわゆる「添乗拒否」問題の一切の原因と責任は、当局にあることは充分に立証されてきたところである。そもそもその発端は、重大事故が多発しているおりJRの「安全対策」が社会問題視されている時にJR本社幹部たる者が私服で運転席に乗りこもうとするなどの

非常識から発生し、こともあろうに「乗務停止」攻撃まで加え、説明を求めればそれに答えず「業務命令」だというのである。こうした常軌を逸した行為をあらためるのでなく開きなおって、四箇月も経た今日、処分と強制配転を加えるなど言語同断、これ以上の暴挙はない。

片や、千葉転の革マル・永島の職場放棄、暴力事件について当局は何一つそれを咎めることなく逆に擁護しているのだ。このような事を、どうして許せるだろうか。われわれは、激しい怒りをこめ千葉支社を徹底的に弾劾する。今すぐ事前通知を撤回しろ。全組合員は、当局の組織破壊、スト圧殺攻撃を粉砕し二・三月決戦ストに突き進もう。

## 若き仲間たちの決起にたいへ

### 2.3 動労水戸スト支援に参加して



2.3 意気陽々と

水戸市内を元毛

辻川委員長を先頭に、若き仲間たちがガッチリと団結を固め、元氣よく闘っている動労水戸の仲間たちについては、水戸支社の「九〇・三ダイ改」阻止、安全無視・人べらし合理化に反対し、二月三日、組合員のほとんどがストに決起した。この日、動労千葉も五〇名が水戸に駆けつけ、仲間の熱い息吹きにふれ、共に闘い、大いにやる気を充電してきた。水戸の仲間は午前中、県下の労組・住民団体の代表と共に、水戸支社「交渉」をやりきり、その興奮さめやらぬ中、十三時から総決起集会をかちとった。集会は、動労水戸の組合員を中心に、動労高崎連帯、動労千葉、支援労組、住民団体の代表、一五〇名をこえる参加者で会場は熱気に

つつまれた。家族会の参加者の顔も晴々としている。はつきり言って、全参加者が一様に感じたのではないかとと思うが、「いよいよ若き動労水戸の仲間が大きいばばたくときを迎えた」ということではないだろうか。又、発言者は、口々に、「動労千葉の二度の本格的スト決起が今日の活性化状況をより出している」と強調していた。新ためて二度の決起の大きさを確認した。動労千葉を代表して田中書記長と事業団を代表して中村(俊)副支部長がピシッと決意表明を行った。いよいよエンジン全開。身をひきしめ、二月末決戦ストに、動労千葉、動労総連合は突き進もう。